

北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州地域の産業発展に貢献する



北九州 TS

NPO法人 北九州テクノサポート

〒800-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号

TEL: 093-873-1453 FAX: 093-873-1453

E-Mail: npo-kts@npo-kts.org.jp URL: http://www.npo-kts.org/

Vol. 17

平成23年 夏号

NPO法人 北九州テクノサポート 新会長挨拶

影山 隆雄



今年3月に発生した大震災と原発事故は、多くの尊い人命を奪い、国内外の経済活動に大きな影響を与えて、様々な分野に見直しを迫っています。このような時代の節目に、小川前会長の後任として突如、会長を務めることとなりました。小川前会長のような優れた資質に乏しく、困惑している状況ですが、中小企業の皆様や、県、市、関係団体、大学等のご支援の下、会員全員でこれまで積み重ねてきた実績をバネに地域を元気にする活動の場を更に広げていきたいと思っております。

技術・技能の専門家に加えて販売、広告、金融などの専門家にもご参加頂き、複雑化・高度化している中小企業の課題に即応できるようにしてまいります。会員の皆様には、活動情報や相互研修の場をタイムリーに提供して、事業に参画する機会を得やすいように努力してまいりますので、積極的なご協力をお願いいたします。

北九州テクノサポートとして、持てる力をフルに発揮して取組む体制を目指してまいりますので、関係各位の皆様におかれましても倍旧のご支援・ご協力、並びにご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

Topics.1 平成23年度 北九州テクノサポート総会を開催

平成23年6月14日(火)に北九州テクノセンターにおきまして、平成23年度総会(第9回)が開催されました。冒頭、小川会長の挨拶、並びに議長選出し、次の3つの議案について、すべて異議なく了承されました。

- 第1号議案(平成22年度事業報告)
- 第2号議案(平成23年度事業計画)
- 第3号議案(役員改選)

3月11日の東日本大震災、福島原発事故におきまして、被害にあわれた皆様方に心よりお見舞い申し上げます。



NPO_KTS会員他有志一同

平成22年度事業報告

平成22年度は、エコカー減税・補助金や家電のエコポイント付与などの施策によって景気の立直りが見られ始めたが、年度末の3月11日に発生した未曾有の東日本大震災、福島原発事故が我が国だけでなく世界の経済活動に大きな影響を与える事態となった。

そのような中で、北九州地域の根幹とも言える「企業のものづくり支援」や「地球環境問題」への取組みの中で、福岡県が進める「水素エネルギー戦略」や北九州市の「環境モデル都市構想」などをはじめ、各分野へ積極的に支援活動を展開するため、新たに販売支援Grを新設した。

平成23年度事業計画

平成23年3月11日に発生した未曾有の東日本大震災、福島原発事故で、日本は国内外に大きな衝撃を与え、今大変な苦境に直面している。

原発の運転停止の動きは被災地以外の地域にも広がっており、電力不足問題は、地域社会や産業界などに深刻な影響を及ぼしかけている。

我が国の環境・エネルギー政策の見直しや、まちづくりは、今まで以上に重要な課題となっている。相当な年数を要する災害復興～日本再生の中で、特に西日本地域の各分野の方々の頑張り、期待、役割が大きくなっている。NPO法人北九州テクノサポート(KTS)の役割も、然りである。

KTSは「ものづくりの支援を通じて、産業振興をはかり、まちづくりに貢献する」を理念とし、企業及び行政機関や公的機関、大学・高専等と連携を密にして、ニーズに即応した支援や協力・派遣・調査、研究会等を通じ、プロモーターとしての役割を果たす。

役員紹介

平成23年7月1日現在

会長	影山 隆雄
事務局長	小林 敏郎
副会長	石川 浩、重藤将美 安東 静、藤原利久

支援Gr長

事業企画Gr長	石川 浩
産学連携支援Gr長	影山隆雄
ISO・EA21支援Gr長	小川 勝
環境技術支援Gr長	藤原利久
IT支援Gr長	安東 静
販売支援Gr長	山本倅暉
広報支援Gr長	重藤 将美
EA21事務局長	藤原 成種

理事

安東 静、石井 剛、石川 浩、小川 勝、影山隆雄、小林敏郎、重藤将美、白井 堯、堤 増美、藤原成種、藤原利久、松隈 齊、山本倅暉、吉開 悟

監 事: 後藤禎二、竜口康文

平成23年6月14日の総会により理事が選任され、その後の臨時理事会において会長・事務局長・副会長が選任されました。



平成23年度 NPO_KTS総会風景



NPO_KTS懇親会風景

Topics.2



来賓挨拶: 福岡県商工部長 塚元 憲郎 様

「NPO法人北九州テクノサポート第9回通常総会」の開催、おめでとうございます。また、日頃から福岡県の産業振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

皆様は、国内有数のものづくり拠点である北九州地域を中心に、「モノづくりの支援を通じて産業振興を図り、まちづくりに貢献する」との理念の下、経営、技術開発、産学官連携などの支援活動に意欲的に取り組んでおられます。昨年は、「世界の環境首都」北九州市にふさわしく、エコアクション21の認証取得支援などを強力に推進されるとともに、本県の事業につきましても、「家庭用燃料電池分野への地元企業の新規参入支援」など、会員の皆様にも多大なる御協力をいただきました。小川会長をはじめ、会員の皆様にも心から感謝申し上げます。

わが国の産業を支える製造業の強みは、ものづくりの技術や技能の優位性にあります。本県では、ものづくり企業の皆様の技術支援の拠点として、北九州市の「機械電子研究所」、筑紫野市の「化学繊維研究所」、久留米市の「生物食品研究所」、大川市の「インテリア研究所」の四つの工業技術センターを設置しています。

また、ものづくり産業の振興に携わる産学官の団体・機関で「福岡ものづくり産業振興会議」を組織し、高度技能者を生産現場に派遣し、県内中小企業が抱える技術課題の解決を図る「ものづくりアドバイザー事業」など、ものづくり企業の支援策を推進しています。北九州テクノサポートの多くの会員の皆様にも「ものづくりアドバイザー」に御就任いただき、御活躍いただいているところです。

県といたしましては、これらの事業を通じて引き続きものづくり企業の支援に努めてまいります。

今回の東日本大震災で、日本は大きな困難に直面しています。救援物資の送付や人材の派遣、避難者への住宅の提供・就職支援といったことはもとより、これから我々が何をやるべきかを考えると、福岡県は、我が国におけるアジアに最も近い大都市圏であり、西日本随一の産業・学術・文化の集積拠点である等、様々な特性、強みをもっています。それらを結集して、まず我々が元気になって、この元気を九州、西日本、東日本に届け、元気の輪を日本全体に広げることにより、いわゆる復興、新しい国づくりの中で、本県が大きな役割を担ってまいります。皆様におかれましても、豊かで繁栄する福岡県づくりに一層の御支援と御協力をお願いいたします。最後にNPO法人北九州テクノサポートの更なるご発展、並びに、お集まりの皆様の御健勝、御活躍を心から祈念いたします。

代読 福岡県商工部 新産業・技術振興課 課長技術補佐 山口 雅裕 様

平成22年度 事業報告

平成22年度事業活動総括

本年度も福岡県や北九州市の支援を受けて、(財)西日本産業貿易コンベンション協会の「中小企業テクノフェア2010in九州の川上・川下ビジネス・マッチング支援」や福岡ものづくり産業振興会議の「福岡ものづくりアドバイザー事業」などの協同事業で大きな成果を上げた。さらに、エコアクション21地域事務局福岡の業務受託も6年目となり普及も一段と進んだ。今年度は、北九州市のご尽力により、建設業者が多数プログラムに参加をみたことは特筆すべき成果である。

また、人材協力の面でも、引き続き九州工業大学、九州大学をはじめ各種の公的機関へも支援協力員を派遣するとともに、企業ニーズ調査を行った。

■主要活動実績は以下の通り

- ・中小企業テクノフェアのビジネス・マッチング支援事業
(財)西日本産業貿易コンベンション協会)
- ・OB人材を活用したブラッシュアップサポート事業
(社)九州ニュービジネス協議会)
- ・福岡水素戦略会議「家庭用燃料電池分野」への支援
(福岡県商工部 新産業技術振興課水素班)
- ・福岡ものづくりアドバイザー事業へ協力支援
(福岡ものづくり産業振興会議)
- ・エコプレミアム商品販路開拓事業
(北九州市環境局環境モデル推進室)

- ・韓国・慶尚南道におけるビジネスモデル創出事前調査
(北九州市産業経済局貿易振興課)
- ・エコアクション21地域事務局福岡 業務受託
(財)地球環境戦略研究機構)
- ・エコアクション21実践講座等のグループ研修業務受託
(北九州市環境局、佐賀市、下関市)
- ・福岡県エコ事業所応援事業のグループ研修業務受託
(福岡県環境政策課)
- ・中小企業支援センターへ相談員及び専門家派遣
(FAIS中小企業支援センター)
- ・北九州TLOのライセンス活動業務受託
(FAIS知的財産部)
- ・企業及び大学、公的機関への人材派遣 ((財)福岡県中小企業振興センター、九州工業大学、九州大学)
- ・九州大学社会人教育 (MOM講座) への協力
(九州大学大学院工学府)



■ビジネスマッチング成果発表会



■ソーシャルビジネスへ参加

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS四季報Vol.17広告1-2



経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。

大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

大光炉材株式会社

本社: 〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631(代) FAX: 093-883-2151
<http://www.taiko-ref.com>



産業廃棄物処理
プラスチックリサイクル
溶剤リサイクル

高野興産株式会社

本社北九州市八幡西区御開2丁目5-1 TEL 093-691-279
北九州エコタウン工場 北九州市若松区響町1丁目62-19
URL: <http://www.takano-k.com/>

Topics.3

来賓挨拶:財団法人 北九州産業学術推進機構 理事長 国武 豊喜 様



NPO法人北九州テクノサポートにおかれましては、支援グループを中心に活発な活動を続けており、地域企業の支援や産学連携のコーディネーターなど北九州地域の中で大事な役割を果たされています。

昨年度の事業報告や今年度の事業計画を伺いましたが、西日本コンベンション協会と協働でのマッチング事業や、エコアクション21地域事務局福岡の活動などは、NPO法人という枠を超えた活動になってきており、敬意を表する次第です。

私も財団でも中小企業支援センターを中心に中小企業の支援活動を行っております。昨年度は、経営支援その他の相談件数は1,125件を数えました。その内、経営課題解決に向けて延べ92社、311回に渡り専門家を派遣し、具体的な経営診断やアドバイスを行い、また、販路開拓にも力を入れており、展示会等を活用し市内企業の優れた製品・技術を市内外に紹介・PRを行ったところでございます。

財団のもう一つの重要な取り組みに産学連携があります。

昨年産学連携をベースにして低炭素化の技術開発に取り組んで来ました。国内・地域の企業・学会と一緒に検討を重ね、今年1月に研究戦略指針をまとめ、これから本格的に活動を開始するところでございます。

折しも3月11日に大震災が発生し、省エネ・省資源の重要性は益々高まってきております。このような産業動向を踏まえ、技術開発や販路開拓に打って出る企業の皆様に対し、資金面でも助成制度を昨年設けたなど支援体制を整え、支援を行っていきたく考えています。

日本の実情を考えると高齢者も威厳をもった活動を続ける必要があると思います。その意味では、NPO法人北九州テクノサポート会員の皆様の経験、専門知識、専門技術を活かした活動は、まさに高齢化社会にふさわしい日本の未来を照らす活動であると感じています。皆さまのますますのご活躍と地域の活性化へ大きな力を発揮していただくことを期待しております。

平成22年度 各支援グループの活動状況

1.産学連携支援Gr

平成22年度は、平成21年度に引き続き、財団法人北九州産業学術推進機構産学連携センターより、北九州TLOシースのライセンス支援活動を受託して、北九州に立地する大学が研究開発した特許をこの地域の中小企業に紹介・普及する活動を実施した。平成22年度は3名のKTS会員に加えて、個人的に会員6名が「特許流通アソシエイト」として活動した。地元の中小企業者からは、新しい特許・技術情報が提供されるので感謝された。

また新規に北九州市より受託して、韓国・慶尚南道地域との北九州地域の機械・金属加工企業の交流可能性調査を実施した。福岡ものづくり産振会議におけるものづくりアドバイザー事業については従来の技能指導に加えて技術指導のため参加者を3名から8名に増強して成果を挙げている。

九州大学大学院工学府の「ものづくり工学研究センター」より、社会人を対象とした中核人材育成コース(MOM講座)の企業への紹介と受講生募集並びにカリキュラムへの助言提案など、講座運営に関して協力支援を行った。加えて、福岡水素エネルギー戦略会議で検討中の家庭用燃料電池の補機類について、地元企業の参入を図るために、コーディネーターとしての役割を担った。



TLOライセンス活動説明会

2.環境技術支援Gr

昨年度に引き続き環境関連企業が多く出展する(財)西日本産業貿易コンベンション協会(以降協会)主催「中小企業テクノフェア2010in九州」のビジネス・マッチング支援事業を行なった。22年度は更に協会主導の下、(独)中小企業基盤整備機構の「H22年度川上・川下ネットワーク構築事業」の「川下企業OBのコーディネーターによる展示会活用型マッチングスキームの新たな展開」として採択を受けた。

準備期間4月～7月、7月16日正式第1回打ち合わせを経て、7月26日キックオフを行い、翌年の2月の成果発表会フォローまで8ヶ月に亘る川上・川下ビジネス・マッチングにより商談目標3000万円に対して4000万円の実績見込みを得た。

最近、ビジネス・マッチングが国際・国内の地域活性化のキー・ビジネス・アビリティとして注目を浴びているが、今回の経験は出展者、協会、KTS共に課題を抽出することができ、三者が一体の協働によってビジネス・マッチングが出来ることを示した。一番の喜びは展示企業からは手ごたえを感じたと評価を頂き、前年比1.5倍の展示企業が来年も展示会に参加すると答えていただいたことである。



KTS展示相談ブース

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS四季報Vol.15広告3-4

福祉・医療器具のリーディングカンパニー

株式会社 有菌製作所

当社は、人生にやさしい福祉・医療器具の総合メーカーです！
障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供をします。

代表取締役 有菌 央

〒805-8538北九州市八幡東区東田1-7-5

TEL:(093) 661-1010 FAX:(093) 661-1670

URL <http://www.arizono.co.jp/top/>



2度減システム

地球高温化対策、CO2削減を目的として壁面緑化「2度減システム」を推進します！

CASLE CO., Ltd.

代表取締役
渡邊 健司
Kenji Watanabe

カースル株式会社

URL <http://www.casle.co.jp>

〒800-0115 北九州市門司区新門司1丁目9-6 TEL:093-481-1212

REGISTERED ORGANIZATION No.1472-1803-4803 REG02 ISO 14001 認証取得



平成22年度 各支援グループの活動状況

3.ISO.EA21支援Gr

平成22年度、ISO9001及びISO14001の認証取得コンサルティングの受注はなかった。ISO14001の内部監査員養成研修を1件受注した。

エコアクション21への事業者の関心を、自治体イニシャティブプログラムや企業等が主体で推進するグリーン化プログラムを実施することにより喚起し、認証取得がすすんだ。

この両プログラムに協力して、グループ研修のコンサルタントを派遣し貢献してきた。具体的には、自治体イニシャティブプログラムを実施したのは北九州市、佐賀市、下関市、グリーン化プ



EA21審査人相互研修



支援Gr会議及び研修会

ログラムは、福岡県、山口ISO倶楽部であった。

また、エコアクション21の認知度向上・普及、及び認証取得事業所PRを目的に「エコアクション21たより(KTSニュース瓦版)」の5号を発行した。

6. 広報支援Gr

NPO法人北九州テクノサポートの目的及び組織、事業のPR・広報について平成19年夏から全面的にリニューアルした「北九州テクノサポート通信」の内容の充実と賛助会員並びに広告会員の獲得に重点を置き活動した。

(1)会報「北九州テクノサポート通信」(年2回発行)の紙面刷新と広告支援企業の広告デザインを一新し、配布の迅速化を図りバックナンバーを全てホームページに公開した。

(2)各活動の展開や機会を活用し知名度アップのため大手企業のトップの新春放談を掲載した。また、特別公演「産学連携を活用した教育と研究の高度化」(世界的拠点を目指した地域と協働した九工大の戦略)松永守央学長の記事を掲載した。

(3)賛助会員9社、協力会員5社で、賛助会員+3社・広告支援企業-1社。

(4)北九州ソーシャルビジネスメッセに参加した。 H23/2/26→



KTSパネル展示

4.販売支援Gr

従来、販売支援Grの事業は、環境支援Grの一環として取り組んできたが、本年度より独立した支援Grとして新たに発足した。

まず6月には、(社)九州ニュービジネス協議会の「OB人材を活用したブラッシュアップサポート事業」のサポーターとして支援契約を結んだ。

そして22年度として特に中小企業テクノファアin九州2010において、(独)中小企業基盤整備機構の助成金による「平成22年度川上・川下ネットワーク構築事業」を会員の総力を挙げて事業を推進した。また、本年度着手予定の市環境局環境モデル推進室主宰の「エコプレミアム商品販路開拓事業」の企画書を策定した。



5.IT支援Gr

平成17年度に受託・活動したコミュニティビジネス事業の継続事業および従来からのIT支援事業を推進・活動した。インターネットによる広報事業及びKTS内ITシステム管理は従来どおり推進した。



7. エコアクション21地域事務局 福岡

平成22年度も、エコアクション21の普及活動として、自治体イニシャティブプログラムおよび関係企業グリーン化プログラムを実施することにより、エコアクション21の認証取得を目指す事業者に対し支援した。プログラムの最終回まで受講したのは47社である。

特筆すべきは、北九州市のご尽力により、建設業者が多数プログラムに参加をみたこと、並びにガイドライン2009年版の発行に伴い、事業者向け説明会を開催し、認証登録審査においても移行審査を実施したことである。さらに、23年度プログラムに向け幼稚園・保育園対象セミナーを実施した。

エコアクション21への勧誘のための企業訪問を実施し、延べ122回に及んだ。

今年度の認証・登録関係としては、審査申請が新規50社を含め204社、判定委員会での審議は新規59社を含め202社、新規登録55社である。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS四季報Vol.17広告5-6



Kamigakigumi.inc

株式会社 神垣組

神垣組(かみがきぐみ)は左官工事と、環境に配慮したモルタル・コンクリート製品の開発製造を行う会社です。

■私たちは、建築左官の伝統的技術と新素材の開発で、今後とも社会に貢献し、次世代にこの技術を残していきたいと考えます。

URL <http://www.kamigakigumi.co.jp/>

代表取締役 神垣 三次

〒819-0165 福岡市西区今津5413-10

TEL(092)806-6070 FAX(092)806-6070

(株)加来野製作所

新製品 世界初
低温減圧振動除湿式木材乾燥機



国際特許出願中

各種新製品紹介

小型万能乾燥機
オガ粉製造機
バーク粉碎成形機
木資源リサイクル製品
リサイクル製造プラント

<http://www.kakuno-seisakusyo.com/>

(株)加来野製作所 福岡県豊前市大字宇島76-19

TEL:0979-82-3888 FAX:0979-82-1509

特別講演会

演題： 中小企業の生き残り戦略 ==海外戦略と商品開発==

講師：株式会社 松島機械研究所 代表取締役社長 松島 徹 様

1. 商品開発の背景と歴史

創業は1946年(昭和21年)、今年で65年目になる。当初は物作りではなく機械のコンサルタントをイメージしていた。昭和23年第1号製品、センサを使用した石炭選別機を納品。商品構成は紛体(石炭やセメント等)用レベル計が30%、コンベア周辺の監視スイッチ類が30%。他に高炉用レベル計がある。三相誘導電動機を使用して減速するアクチュエータは、半分くらい占めていたが現在は10%程度に減少した。特にレベル計は機械式から超音波・マイクロ波方式への転換を図り、自社開発で商品化。現在、機械製品は少なく電子製品が70%程度占めている。



2. 自社開発への転換

紛体用レベル計は機械式であったが、1984年頃から次第に非接触式が要求され、当時ドイツのレベル計メーカーの代理店となり輸入販売を開始したが仕様調整に苦慮した。また、高炉用レベル計は1986年に周波数変調方式を技術導入したが、部品が輸入品で、度重なるモデルチェンジや、生産中止で苦慮した。これらのレベル計は自社開発へ方針を転換した。

しかし、中小企業は技術者が限られ商品の開発で苦勞していた時、テクノサポートから訪問があり相談。九大との産学連携の形で支援が得られ、マイクロ波方式のレベル計の開発ができるようになった。自社開発への転換で技術者がマイクロ波の理解が進み、応用を考えるようになり、独自のマイクロ波の「コア技術」を使った派生新商品が作れるようになり、食品や製薬会社などの新規マーケットの開拓ができた。



商品開発の背景と歴史

3. 国内市場の変化と新市場開拓

日本における素材型産業の衰え、プラント輸出産業の変化、産業構造の変化等により国内での原料を輸送する仕事はなくなるとの危機感より、2003年に製品販売を目的として中国の上海に工場を作った。中国での原料輸送の商品は自社製品でないと戦えないと今でも実感している。中国はローカルコピーメーカーが台頭し、同じ商品を1/4の価格で取引され利益率の低下が大きい。



■衰退と成長の分水嶺-試算

次のマーケットはインドと考えている。インドはマーケットの期待度は大きいですが、現地に販売店を置くとなると、ハードルが高い。社内の営業マンが定期的訪問となると費用の問題で4か月に1度程度となり成果の期待は難しい。インドネシア、フィリピン、タイ等のASEAN地域の中に拠点を置けばインドも攻略できることから、タイのバンコクに拠点を考えている。ここで物作りから販売までできるようにすれば、マーケットが中国からASEANへ移行しても対応できると考えている。

会長退任挨拶：NPO法人 北九州テクノサポート 理事(前会長) 小川 勝



この度、会長を退任するに当たり、会員の皆様をはじめ関係機関・団体の皆様には多大なご支援・ご協力を賜りましたこと、有難く厚く御礼申し上げます。平成19年度から4年間、会長職を務めてまいりましたが、この間、財政基盤の強化を心がけ、事業企画Grを設置し積極的に事業の受託を進めました。

九州工業大学への調査員の大量派遣や西日本産業貿易コンベンション協会との販売マッチングの協業などで成果を上げることが出来ました。また、北九州環境産業推進会議に沿ったエコアクション21地域事務局福岡の活動強化などもあり、全般的に活動は活発化しています。昨年度から販売支援Grを設置し各種団体との協業も視野に入れた販売支援施策を検討してきました。これから具体的な活動が期待されます。

今日まで、支えていただいた皆様に重ねて感謝申し上げるとともに、新しい会長・役員への一層のご支援・ご協力をお願いいたします。併せて当法人のますますの発展を祈念し退任のお礼の言葉とさせていただきます。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■賛助会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS四季報Vol.17広告7-8

 株式会社 **メタルテック**

金属製品・外装パネル・ルーバー
光触媒工事・親水・防汚機能外装工事
福祉施設・病院工事・防菌手摺工事・防カビ工事

光が当たらなくても、親水性発揮!!

雨が降るだけで汚れが落ちる
金属製防汚パネル

〒810-0012福岡市中央区白金1-9-3
Tel:092-523-1513 Fax:092-523-1532 URL <http://www.metaltech.jp/>
E-mail:metaltech@poplar.ocn.ne.jp

 株式会社西井塗料産業
NISHI PAINT INDUSTRY CO.,LTD <http://www.nishii.co.jp/>

価値ある提案を通じて
産業の発展と生活文化の向上に貢献

〒812-0007
福岡市博多区東比恵3丁目4番6号

お問い合わせ ご質問・ご相談はお気軽にお寄せください
092-415-4518 eigyou-bu@nishii.co.jp

平成23年度 事業計画

■平成23年度 各支援Grの実施計画は、次のとおり。

1.環境技術支援Gr

環境・低炭素を売り物にする北九州において地域の成長には低炭素・省エネ・環境が非常に重要である。企業と地域活性化のキー・ビジネス・アビリティはビジネス・マッチング力である。技術・営業・協働による信頼を醸成すれば、ビジネス・マッチングが成功する。この2年、「中小企業テクノフェアin九州」で非常に良い経験と実績を重ねており本年度も継続する。ビジネス・マッチングのKTSの研鑽を積み、KTS人脈の拡大や商工会議所などのWin-winの協働活動を築き上げていきたい。

- (1)「中小企業テクノフェアin九州2011」のビジネス・マッチング支援事業と関連活動
- (2) 展示企業や省エネ企業に関して関係機関と連携拡大を始動する。

2.産学連携支援Gr

地域企業のニーズにマッチした産学官連携活動支援事業を展開する。

- (1)TLO案件等の技術紹介・普及活動支援を通じてシーズ(研究成果)の企業化・事業化の実現を目指した活動支援を推進する。
- (2)企業の技術ニーズに基づき大学・公設試のシーズ調査・探索を行うと共に必要に応じて新たな研究開発の企画への支援を推進する。
- (3)北九州地域が持続的な発展を続けていくため、大学界と産業界、教育分野と地域社会が、互いに支え合いながら「産業人材育成の推進とその育成システムの構築」を図り、地域活力の向上を促していく好循環の創出を支援する。

3.販売支援Gr

中小・ベンチャー企業が開発した新規性・独創性・有益性など特徴ある製品について、KTS会員の豊富な人脈と専門性を活用

用して、北九州市地域を中心に全国的に販路開拓・拡販を支援すると共に必要に応じて製品改良の提案を、委託先や関係機関と連携推進して地域の産業活性化に貢献していく。

- (1)(社)九州ニュービジネス協議会と契約した「OB人材を活用したブラッシュアップサポート事業」のサポーターとして、本事業に適合しそうな新規性・独創性のある商品を有する企業を選別し、二月会(商品プレゼン)や有償販路開拓などの事業参画を依頼すると共に事業展開を計るためマッチング企業を調査し販路開拓・拡販を支援する。
- (2)(財)西日本産業貿易コンベンション協会「中小企業テクノフェアin九州2011」の特徴ある展示製品に対応した北九州地域の企業とのビジネス・マッチングの創出を図る。

4.ISO・EA21支援Gr

地球温暖化防止は全世界的に重要な課題であり、北九州環境産業推進会議の取組みと協働して環境経営システムの取組拡大に貢献するとともに、環境のISOの認証取得等の支援、及びエコアクション21の普及、認証取得に向けた活動を「EA21地域事務局福岡」と連携する中で活発に展開する。また、品質に関する経営システムの導入についても支援を推進する。

5.IT支援Gr

主に中小企業に提供できるIT支援事業を抽出し、個別の中小企業への活動に加え、工業団地等へのIT支援事業を展開する。KTSでのインターネットを含むITを活用したネットワークの構築、ホームページの充実・PRが今後も必要不可欠であり、重要課題として推進する。

6.広報支援Gr

KTSの認知度を高めるための広報誌「NPO法人北九州テクノサポート通信」を年2回作成し、それをもって自治体等の各機関・業界団体・組合・企業等への広報活動を展開する。

また、「NPO法人北九州テクノサポート通信」を見やすく且つお役立ち情報など内容の充実を図る。

エコアクション21地域事務局福岡

エコアクション21の普及促進及び事業者の認証取得への支援推進に努める。

- (1)北九州市の実践講座及び福岡県の集合コンサルティングを同時に実施する。今年度は5回実施することとし、事業者の受講の機会をふやした。特に、うち1回は、幼稚園・保育園の先生を対象に「エコな先生講座」とした。
- (2)ガイドライン2009年版の定着化を図る。
- (3)エコアクション21業種別ガイドライン2011年版が制定された。新しい規定の事業者向け説明会を開催するとともに、取組みの円滑化を図る。



北九州地域のモノづくり企業の紹介

北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

おかげさまで
生誕100年
CHIGUSA 2014
“2014年に生誕100周年を迎えます”

千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
<http://www.chigusa.co.jp>

限りある資源を未来に 地球環境に貢献
株式会社コーセイジャパン

LCC(ライフサイクルコスト)の優れた省エネ!

当社は省エネ型電子安定器の開発メーカーです。
照明の明るさを落さず35%~50%の省エネが可能な商品を取り揃えております。
低コストで長寿命(3年保証付)の安心省エネ!
またハロゲン代替用LED電球も販売開始しました。

〒800-0313 福岡県京都郡苅田町磯浜町1丁目16-9
TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141 <http://www2e.biglobe.ne.jp/~neolux>

蛍光灯の省エネに
ネオルクSP

84%省エネ
ハロゲンの省エネに
LEDビームランプ

The Actual is Limited
The Possible is Immense
MATSUSHIMA

代表取締役社長 松島 徹
株式会社 松島機械研究所

本社 北九州市八幡西区大字則松461 〒807-0831
■TEL 093-691-3731 ■FAX 093-691-3735
■<http://www.matusima.co.jp> ■完全国産化した、パルスレーダー式マイクロ波レベル計

平成23年度 新規事業の活動計画

■北九州産業人材育成フォーラムに協力

石川 浩 副会長 事業企画Gr長

経済のグローバル化の進展による国際競争力の激化の中で、北九州地域の持続的な発展を支える産業人材の確保・育成に関して、中堅・中小企業を中心とした地域レベルでの産学官民の協働による推進組織づくり(産業人材育成フォーラム)が、KPEEC(北九州活性化協議会)を中心として昨年末から進められており、KTSに対し協力要請があった。

KTSとしては企画部会のメンバーとして積極的に参画・協力し、本年度の事業として下記の事業が企画され、(1)については既にKTSとして業務委託契約を済ませ実行段階に入っている。今後の更なる展開をフォローアップ中である。

- (1) 高度人材育成プログラム(新卒技術者のキャリアアップ)
地域企業と大学との連携によるインターンシップ事業
- (2) 社会人育成プログラム(就業技術者のリカレント・スキルアップ)
大学の専門プログラム活用による社会人のスキルアップ事業
- (3) 青少年育成プログラム
地域企業及び教育機関と連携した青少年育成事業

■長期インターンシップ支援

影山隆雄 産学連携支援Gr長

北九州地域産業人材育成フォーラムからの委託の下、インターンシップ(IS)参加対象企業の選定と企業情報収集、参加企業の誘致を行うと共に、学生に対する事前研修や相談会に対する支援を実施して企業のニーズ及び環境をふまえて学生とのマッチング調整を行う。

また、ISに先立ち工場見学ツアーの計画編成を行い実施に協力する。

■中小企業のための省エネ支援とテクノフェアin九州2011のビジネスマッチング

藤原利久 環境技術支援Gr長

九州も省エネが大きな実現課題。省エネ診断と高回収率が求められている。実現には省エネ力と行政や商工会議所との連携が欠かせない。今年はテクノフェアの環境・省エネなどのビジネスマッチング支援も足がかりに、商工会議所・KVIC省エネ研などの協力拡大や当NPOの販売支援G・EA21Gとの連携を強め、積極的に外部展開と総合力強化を推進する。

■ブラッシュアップサポート事業の販売支援

山本倅暉 販売支援Gr長

中小・ベンチャー企業の成長を支援するため、企業が開発した製品の販路開拓を実現すると共に価値ある商品への改善提案を含めた販売支援活動を実践します。なお、エコプレミアム製品の来年度販売事業の企画実現を目指します。

■IT支援事業の拡充

安東 静 IT支援Gr長

パソコン講座、ホームページ作成支援、Excelを活用した業務改善支援活動等を推進してきたが、新技術情報を効率よく取得し支援力を強化し活動の幅を広げるため、基礎体力強化事業ともいべきIT支援Gr内活動を推進する。OpenOfficeのソフトの活用から手始めに、順次最新マイコン制御等から選択して進めることにした。

新任理事の抱負と紹介

■白井 亮 新理事



はじめまして、白井です。現在福岡に住んでいますが、これまで、中小企業の技術経営や知的財産の活用、エネルギー使用の合理化等を支援して参りました。この度、“ものづくりのメッカ”北九州でお役にたてることを嬉しく思っております。よろしくお願ひ致します。

■堤 増美 新理事



産学連携支援グループを通して経験を生かした活動を広げ、北九州市や近郊の企業の活性化や低炭素化社会への移行に微力ながら貢献したいと思っております。

北九州地域のモノづくり企業の紹介

■北九州地域の産業発展を支える中堅・中小企業を紹介します。

■広告会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS四季報Vol.17広告11-14

GL PIPE JOINTS 好評です

GASKETLESS管継手

■パッキンのいらない



- 新製品賞 '99中小企業 優秀新技術新製品賞
- 福岡県知事賞 中小企業先端技術展 福岡県知事賞

The Creative Corporation
株式会社 大創

■北九州市八幡東区西本町4-5-1
TEL:093-681-7195 / FAX:681-7196
E-mail:pd-otsuji@daiso.bz
URL <http://www.daiso.bz/>
口ご質問・お問い合わせは→専用FAX:093-681-7197

自動車用ボディ関係の板金プレス金型設計・製作で
世界をリードする金型専門メーカー



株式会社 ウチダ

代表取締役社長 内田 末男

九州工場 〒823-0011 福岡県宮若市宮田5 4 2 - 3 8

TEL (0949)33-3145 FAX (0949)33-3146

本社 〒574-0055 大阪府大東市新田本町1 2 - 6

TEL (072)874-3377 FAX (072)874-3839

E-mail : info@uchidanet.co.jp

URL : <http://www.uchidanet.co.jp>



微美 創造企業 MEMS SOLUTION

【事業：超精密金型部品の製造】

我々は、“超精密”にこだわり、お客様に喜んで頂ける製品を、常に作り続けることを経営の柱にしています。“どうしたら、急速に変化する市場ニーズに対応できるのか？”思考を繰り返し、知恵を出し、現状の枠にとらわれない広い視野で、夢のある物作りを実現して行きたいと考えております。

これからも「お客様の喜び=我社の喜び」を追い続けていきます。



株式会社ワークス 代表取締役 三重野計滋(みえの けいじ)

〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445 Tel:093-291-1778 Fax:093-291-2728
E-mail:info@wks-co.com <http://www.wks-co.com>



ミーム (未夢)



道路トンネル検査点検専用車両



計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原1-8-3

TEL:093(642)8231
FAX:093(641)2010

<http://www.keisokukensa.co.jp>

株式会社 コーセイジャパン

日産九州と同じ苅田町にあります。照明省エネでは独特の開発力を持ち、省エネ回収率では群を抜き中小企業テクノフェアなどの出張活動も活発である。

一緒にビジネスマッチング協力の(株)コーセイジャパン安陵社長を訪問しました。

■会社の沿革と業況

当社は昭和48年、高炉の改修から始まった企業ですが、高炉建設の減少に伴い転業を進めていくと決意したときに、市場に数が多くて長時間使われるものを作っていこうと考え、蛍光灯の安定器に取組んでいくことにしました。

昭和63年頃から6年の歳月をかけて研究開発し、特許出願に至りました。その後も市場のニーズや他社との開発競争のため改良を重ね、蛍光灯電子安定器で2件の特許取得をしております。

ネオルックSP(現製品)の特徴は電圧フリー・ランプフリー・出力切替機能・並列式などがありお客様のニーズで好きなランプで自由に出力(明るさ)が可変でき、時にはランプを1本外して省エネなどを選択できる点です。これにより35%~50%の省エネが可能となります。

■今後の展開

昨今ではLED照明が話題であります、直管蛍光灯タイプはまだコストパフォーマンスの面で課題があります。当社ではスポットライトやダウンライトなどのLEDの特性に合った商品開発を進めております。

ハロゲンなどのスポットランプでは70%~80%もの省エネが実現します。

■KTSへの期待

環境負荷軽減に繋がる商品なので、EA21認証取得やビジネスマッチング支援にご指導を期待します。



蛍光灯省エネ
ネオルックSP



LEDビームランプ



生産風景
(協力企業)

株式会社 ワークス

平成23年6月23日、石川理事が同社工場を訪問、三重野社長からお話を伺いました。

■会社の沿革と業容

当社は1991年、現 三重野計滋社長が研削関連の機械・工具の取扱商社として北九州市に創業したのが始まりで、1997年に製造業へ参入し超精密金型部品の製作を開始。以来「超精密」「高付加価値」な「ものづくり」にこだわり、地元研究機関と連携して高耐久性特殊加工工具を開発。その特長(従来工具の100倍の硬度)を生かして安定した超精密加工を実現。その高い技術力が顧客満足度につながり海外を含む精密機器分野で多くの企業と取引があり更なる展開を模索中である。

2009年に経済産業省より「元気なモノづくり中小企業300社」に選定され、2010年、関東営業所(相模原市)を「Ates東京Office」と名称変更して東京都新宿区へ移設し幅広いユーザー開拓と技術開発の連携拠点として活動を展開中である。

先ず工場で目にするのは放電加工レス微細加工技術であり腕時計内部に使用される極小ネジ及び携帯電話に使用されるボタンスイッチ等は夫々、冷間鍛造金型、精密絞り金型で生産されている。これらの金型は従来、放電加工を行った後、面精度確保のため熟練工による磨き加工を行っていたが製品精度の均一性に問題が生じるなどの欠点があった。これを研削加工のみで加工可能とした技術である。また従来加工技術ではなすえなかつた難削材のナノメーターレベルの加工技術も開発中である。

■今後の展開

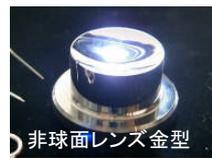
我々を取り巻く電子部品業界、特に国内の市場は急激な転換期を迎えています。海外メーカーとの競争が激化し、国内メーカーの製造拠点が海外に移転し続けています。

中小企業のこれからの生き方に変化が求められています。これからは「日本でしかできない、ものづくり企業」を目指し、海外メーカーとの差別化、優位性を構築していくことを経営の大きな柱と考えています。そのために、新技術開発に経営の資源を集中し選ばれる企業作りを目指してまいります。

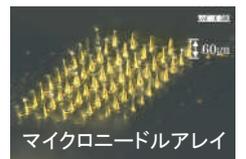
■KTSへの期待: 中小零細企業には「スピード感を持った変化」が求められていますが、我々のような小さな企業は、限られた経営資源しかありません。そこでKTS様へは、ビジネスモデルの構築、人材教育、技術開発等々、我々だけでは不足している部分を強力にサポートして頂き、幅広いご支援をお願い致します。



■本社工場全景



非球面レンズ金型



マイクロニードルアレイ

◇会社概要

■本社: 福岡県京都郡苅田町磯浜1丁目16番地の9
TEL:093-436-6136(代表) FAX:093-436-6141
■代表者: 代表取締役 安陵 範浩 ■設立: 昭和48年5月
■資本金: 3,500万円 ■従業員数:
■事業内容: 1.電子式安定器の開発及び製造販売 2. 照明器具並びに付随する製品の販売 3. 蛍光灯用反射板の販売 4. 電気工事業
URL <http://www.2e.biglobe.ne.jp/>

◇会社概要

■本社: 〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町大字虫生津1445
TEL:093-291-1778 FAX:093-291-2727
Ates 東京オフィス 東京都新宿区西新宿6-12-7 TEL:090-3456-1434
■代表者: 代表取締役 三重野計滋 ■設立: 1991年4月
■資本金: 1,500万円 ■従業員: 43名
■事業内容: 精密金型の製造
URL <http://www.wks-co.com/>

■会員・賛助会員の募集(当法人は、会員の会費で運営されております)

企業の第一線をリタイアされた方の第二の人生を地域社会発展のために貢献・恩返ししてみませんか…? 皆さん方が持っておられる知識・技術・経験・人脈は、次の社会に伝えなければならないし、それは義務でもあり権利でもあります。これからが本格的な社会貢献の時期なのです。当NPO法人を利用して、地域社会の潤滑剤として役立てて下さい。

■プラスα: 「中小企業における製品開発資金調達について」

(国や地方自治体が行なっている中小企業向け施策「助成金・補助金」を利用していませんか?)

…新製品開発は、企業経営にとって重要な課題の一つです。そこで、皆さん方も良くご存知の助成金・補助金などの利用を考えて見ては如何でしょうか。新年度が4月からスタートしますが、この時期を皮切りに公募が始まります。応募するには即準備に取り掛かってください、公募が始まってからの準備では間に合いません。ただ、書類をつくるのが面倒だと思っている中小企業さんの方も多いのではないかと思います…?その時は、当NPO法人にご相談下さい。

⇒当NPO法人は、70数名のシニア技術者集団です、その中から貴社ニーズに合った専門家が適切にサポート対応します。

■会員・賛助会員の会費

- ・正会員入会金: 5,000円/年会費: 5,000円
- ・賛助会員(法人)入会金: 10,000円
年会費: 20,000円/1口
- (個人)入会金: 5,000円
年会費: 5,000円/1口

編集後記

北九州テクノサポート通信のページを倍増し、内容を充実させました。出来るだけ、地域の企業・大学・行政等の活動内容が出来るだけ分かりやすくするよう努力しました。会員並びに地域の中小企業・行政機関の方にも広く「北九州テクノサポート」をご利用下さるようお願い致します。 広報支援Gr長 重藤 将美

<< 詳細情報は下記ホームページから >>

<http://www.npo-kts.org/>

賛助会員の申し込み受け付中

ホームページから申込用紙をダウンロードして下さい。
技術開発・環境経営の発展を支援します。

NPO法人 北九州テクノサポート

会報「北九州テクノサポート通信Vol.17」

平成23年7月10日 印刷発行

●発行・編集: NPO法人北九州テクノサポート

北九州市戸畑区中原新町2番1号 北九州テクノセンタービル8階806号室

TEL/FAX: 093-873-1453 E-mail: npo-kts@npo-kts.org

■重藤デザイン20110710-1400



北九州TS